

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	臨床治療論 (手術)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年	学期及び曜時限	前期	教室名	新館2F,3F
担当教員	土井 久也	実務経験とその関連資格	神戸大学医学部附属病院麻酔科医学研究員として在籍中		
《科目目標》					
「麻酔科学」「周術期管理」「集中治療学」についての基礎知識習得、それらに関連する疾患や病態の理解、看護師の役割を理解する					
《成績評価の方法と基準》					
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
ナーシンググラフィカ 26巻 周術期看護(メディカ出版) 資料					
《授業外における学習方法》					
指定した教科書を事前に読んで予習をし、授業当日は必ず持参する。当日の内容については配布プリントを読んで復習をする。日常生活から、受講内容に関係するニュースや情報に興味を持つ。					
《履修に当たっての留意点》					
本単元では「麻酔科学」「周術期管理」「集中治療学」についての基礎知識について学習する。学習内容を周手術期における看護師の役割を理解することにつなげる。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身麻酔による生体反応が理解できる	教科書、薬剤見本、パワープロジェクター	教科書を事前に読んで予習をし、学習内容については配布プリントを読んで復習をする
		各コマにおける授業予定	気道への影響、呼吸への影響、循環器への影響、意識への影響、体温管理への影響、排泄・代謝・栄養への影響、知覚運動への影響		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎麻酔について解剖学的観点やその影響含め、理解できる	教科書、パワープロジェクター	教科書を事前に読んで予習をし、学習内容については配布プリントを読んで復習をする
		各コマにおける授業予定	脊椎麻酔の基礎、使用する薬剤、合併症・偶発症、術前・術中・術後の管理について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	外科的侵襲に伴う反応 呼吸、輸液、体温管理の知識を習得し、重要性を理解できる	教科書、パワープロジェクター	教科書を事前に読んで予習をし、学習内容については配布プリントを読んで復習をする
		各コマにおける授業予定	尿量、電解質、血糖、タンパク質、免疫機構と炎症反応 呼吸管理(モニター知識)、抜管について、輸液について、体温について(発熱、悪性高熱症等)		
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第5回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			